

2006 年度（平成 18 年度）

事業計画書

自 2006 年 4 月 1 日
至 2007 年 3 月 31 日

社団法人企業メセナ協議会

5. 国際交流事業 (1,308 千円)

5.1 国際交流 (632 千円)

本年度も各国のメセナ組織と相互の情報交換を中心に、国際メセナネットワーク会議への出席などにより、交流を深めます。

6. 助成事業 (助成寄付金額 650,000 千円／業務費 14,440 千円)

最近、「助成認定制度」の利用が申請件数、寄付件数ともに拡大しつつあり、その処理に事務局の物理的、経済的負担が大きくなっていることから、制度の利用にあたっては有償化（認定1件につき5,000円を徴収）することに改めます。

なお、本年度もひきつづき、当協議会関西事務所のある(財)大阪21世紀協会をはじめ全国各地の相談窓口とも連携しつつ、積極的に制度の利用を呼びかけてまいります。

(参考) 最近の助成認定実績

年 度	1994	1999	2000	2001	2002	2002	2003	2004	2005
申請件数	103	172	176	151	155	155	246	276	191
認定件数	83	155	165	146	153	153	234	256	182
寄付件数	159	752	879	949	835	835	1,001	1,643	1,601
金額 (万円)	19,705	51,566	53,305	57,361	47,679	47,679	46,113	64,932	6,8937
1件当り (万円)	123	68	60	60	57	57	46	39	43

※2005年度は11ヶ月の実績

以上

(2) 実務担当者勉強会 (216 千円)

会員企業のメセナ担当者による「実務担当者勉強会」(通称:「メセナ若手ネットワーク」)は、最近、徐々に参加者が増加していますが、本年度も参加者の自主的な企画・運営を基本として、年間4回程度開催されるようにはかります。

4. 顕彰事業 (15,146 千円)

4.1 「メセナ アワード 2006」(9,166 千円)

本年度も文化庁との連携のもとに「メセナ大賞」と「文化庁長官賞」の2部門からなる「メセナ アワード」を実施します。

□募集期間 4月～5月

□審査会 8月下旬・9月中旬(2回)

□贈呈式 12月1日(金)(会場:東京港区・スパイラルホール)

□後援 文化庁

なお、審査委員は、本年度より3年間、次の方々に就任いただきます。

いとうせいこう氏 [作家、クリエイター]

大笹吉雄氏 [演劇評論家、大阪芸術大学教授]

岡部真一郎氏 [音楽評論家、明治学院大学教授]

樺山紘一氏 [東京大学名誉教授、印刷博物館館長]

北川フラム氏 [アートディレクター、アートフロントギャラリー代表]

榎崎洋子氏 [武蔵野音楽大学教授、音楽学]

山根基世氏 [NHKアナウンス室長]

福原義春 [企業メセナ協議会会長・理事長]

2.5 出版 (2,357 千円)

本年度は、主要なセミナー内容を小冊子「メセナ セミナーシリーズ」として編集し、継続発行するとともに、「メセナ白書シリーズ」「なぜ企業はメセナをするのか」等の既刊書籍の拡販に努めます。

3. 調査研究事業 (9,919 千円)

3.1 調査活動 (2,912 千円)

<メセナ活動実態調査>

本年度も調査部会の協力を得て、より多くの企業におけるメセナ活動の実態把握をめざすとともに、調査結果から長期的な動向および課題の分析に取り組むように努めます。

調査対象 民間企業約 4,200 社

実施時期 2006 年 4 月～5 月

調査方法 郵送によるアンケート

調査結果の発表方法

- ① 報告書「メセナリポート 2006」
- ② メセナ活動データベース『メセナビ』
- ③ 協議会ホームページ
- ④ 記者発表会の実施、プレスリリースの配信

3.2 研究活動 (841 千円)

(1) 研究 (625 千円)

本年度は、中期課題に対応し、会員企業とともに協議会内部での研究活動を強化してまいります。

とくに本年度は、CSR やアカウンタビリティが重視される企業環境のもとで、重要な「企業メセナの成果と課題」をテーマに研究を進めます。

報や協議会活動、セミナー等のイベント報告、さらにスタッフによるレポートなどを写真等のビジュアルデータなども活用しつつ発信してまいります。(http://www.mecenat.or.jp/mt/)

(2) メセナ活動のデータベース「メセナビ」(http://www.mecenavi.info/)

は、前年度に、より使いやすい検索システムとなるように全面リニューアルし、収録データを企業約 500 社、民間財団約 150 団体に増加させました。

本年度も、2006 年度メセナ活動実態調査の結果に基づくデータ更新をするほか、企業メセナについての有力な情報源として、より多くの人々に活用されるよう PR してまいります。

2.3 コーディネート事業（収入：3,800 千円、支出：1,580 千円）

会員企業や教育機関、公共団体等からの要請に応え、メセナ関連の事業や教育カリキュラム等の企画立案あるいは運營業務に協力します。

また、今後、協議会に蓄積された情報やノウハウを整備し、会員企業のメセナ活動を支援できる体制作りを努めてまいります。

企業・団体	概 要
アサヒビール（株）	美術展 アサヒ・アート・コラボレーションの企画・運営
トヨタ自動車（株）	アートマネジメント総合情報サイト「ネットTAM」の企画・運営

2.4 資料収集（959 千円）

事務局内のライブラリーは、前年度のオフィス移転を機に、メセナ関連図書や資料の整備を進めており、今後、情報センターとしての機能充実をはかってまいります。

[現在の閲覧資料]

書籍・報告書 約 1,300 冊、企業・企業財団の資料 約 2,000 社、新聞・雑誌掲載記事、各機関の定期刊行物、映像資料約 300 点

1.3 広報活動の強化 (557 千円)

本年度も各メディアとのリレーション強化に努めつつ、「メセナ アワード」やメセナ活動実態調査などの事業を中心に、引き続き積極的な広報活動を展開します。

2. 情報集配・仲介事業 (25,588 千円)

2.1 情報誌の発行 (6,200 千円)

機関誌『メセナ note』は、前年度に全面リニューアルをはかり、毎号、企業メセナに関するタイムリーな特集テーマを設けて編集・発行し、有償での年間購読者数も増加しつつあります。

本年度も、ホームページやメールマガジンと連動させながら、メセナの啓発・普及や芸術文化関連のインフラ整備に繋がるようにメッセージ性を高めつつ、内容充実をはかってまいります。

[発行要領]

□発行月 奇数月 15 日 (年 6 回)

※上記のほかに、特別号・増刊号を発行の予定

□体裁 A5 サイズ、16 ページ

□発行予定部数 毎号 約 5,500 部

*なお本誌の制作にあたっては、会員企業より特別協賛をいただく予定です。

(2005 年度協賛企業: アサヒビール、サントリー、資生堂、損害保険ジャパン、第一生命保険、大日本印刷、松下電器産業、ワコール)

2.2 情報システムによる発信 (7,956 千円)

(1) 当協議会のホームページ (<http://www.mecenat.or.jp/>) は、2004 年度に全面リニューアルしたことにより、アクセスが月 10~11 万件 (ページビュー) に増加しています。本年度も、英文ページを整備するなどコンテンツの充実をはかり、積極的に情報発信していきます。なお、2006 年 2 月より、さらなる情報発信をめざしてブログを開設しました。4 月以降も、ホームページでは紹介しきれない企業メセナ情

2006年度は、前年度に定めた中期的な課題、すなわち

- ① 企業メセナの今日的意義の再整理とその普及、
- ② 日本の社会状況にふさわしい企業メセナの促進、
- ③ 「文化支援プラットフォーム」としての機能充実、
- ④ 地域の活力を高める企業メセナの支援、
- ⑤ 新会員の加入促進対策の強化、

に向けて引き続き注力しつつ、各事業を下記のとおり推進してまいります。

1. 啓発・普及事業（7,129千円）

1.1 セミナー等の開催（2,277千円）

本年度は、東京・大阪以外の地域においても、地元アートNPO等とも連携してセミナーを積極的に開催し、メセナの啓発・普及をはかります。

また、一般公開での開催を原則とし、より多くの人々への波及効果を高めるように努めます。なお、会員以外の一般からの参加は有料にて参加いただくこととします。

開催地域	回数	予定時期
①東京地区	年2回	06年5月・10月
②大阪地区	年1回	06年7月
③その他地域	年4回	06年7月・9月(※)・12月・07年2月

(※)フィールド視察

1.2 全国メセナネットワーク会議への参加（350千円）

全国メセナネットワーク（加盟17団体／事務局：企業メセナ協議会）の本年度の全国会議は、2006年9月8日(金)・9日(土)に北海道・伊達市で開催される予定です。本会議には、当協議会会員にも参加を呼びかけ、加盟団体関係者との交流を通じて、地域における企業メセナの振興に努めます。